

(仮) 緑と語らいの広場複合施設整備事業に係る事業者選定結果について

1. 最優秀提案者と提案事業の概要

①最優秀提案者について

【事業者】

事業者 アルファコート株式会社

②提案内容の概要

【施設規模】

【構造】 鉄骨造 地上2階
 【延床面積】 約3,800㎡
 【駐車場】 約120台

【導入機能】

【民間部分】 約1,400㎡：健康増進機能（フィットネスクラブ）
 生活利便機能（コンビニエンスストア：イートイン付）
 【公共部分】 約2,400㎡：市民活動センター、保健センター、図書分館、
 学童クラブ、児童館、子育て支援、憩の家、
 夜間診療所

【土地の貸付】

【定期借地権期間】 30年

【オープン予定時期】

平成30年（2018年）4月予定

③事業コンセプト・基本方針



STEP 1 3rd place

まずは人を集める

公共ゾーンの主たる機能として、健康・交流・図書部門が計画されています。
 私たちはこれらの機能と融合し相乗効果を起こすような民間機能の在り方を考えます。

【健康部門】 市民の健康をサポートする機能 健康増進機能 >>> フィットネス
 【交流部門】 長時間滞在をサポートする機能 生活利便機能 >>> コンビニカフェ
 【図書部門】 読書の空間をサポートする機能 知育創造機能 >>> 温室図書館

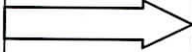
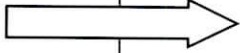
公共事業の集約化と民間事業が連携することで、幅の広いプログラム展開、多世代交流が生まれます。これらのコンテンツへ展開する場として従来の図書機能から発展した「温室図書館」を施設の中心につくります。そこから各プログラムへ展開しやすいゾーニング計画を行います。



STEP 2 「そこからの場所」 エキマエへの人の流れをつくる

「温室図書館」は5つのコンテンツ「Kids・健康増進・学び・生活利便・地域」を核に、多様な興味・交流・アクティビティに出会える「そこからの場所」を創出します。3rd placeが「そこからの場所」となり、多世代交流・賑わいが生まれ、駅前通りの人の流れ、周辺地域への波及へとつながる相乗効果を生み出します。

2. 今後のスケジュール（予定）

	12月	H29年1月～6月	7月～12月	H30年1月～3月	4月～
審査会（ヒアリング・審査・選考） ＜最優秀提案者の決定＞	◎12月8日				
覚書の締結	◎12月中旬				
基本協定		◎1月以降			
基本・実施設計					
工事					
供用開始					